**実践研究大会　発表申込書**

わたしは，申込書に記載の通り抄録を作成し，申し込みます。

平成　　　　年　　　月　　　日作成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな | 所属する委員会・事業部等 | |
| 氏名 |  | |
| 会員番号： | |
| 所属先名称 | 職種または役職 | |
|  |  | |
| 連絡先（□自宅・□勤務先）※いずれかにチェック | 電話 |  |
| 住所：〒 | 携帯電話 |  |
| e-mail |  |
| 発表形式：　　□口述発表　・　□ポスター発表  ※発表形式について上記から該当するものを選び，チェックしてください。 | | |
| 研究方法：　　□実践研究　・　□実践報告　・　□文献研究  ※研究方法について上記から該当するものを選び，チェックしてください。（複数可） | | |
| 発表テーマ | | |
| タイトル：  　サブタイトル：  ※発表内容は，別紙：抄録様式に記入してください。 | | |
| 同様のテーマでの発表履歴：　□なし　・　□あり → 下記記載 | | |
| ①発表年月：  　②大会名等：  　③タイトル：  （発表者名は記入しない） | | |
| 共同研究者：□なし　・　□あり →下記記載 | | |
| 名（共同研究者名は記入しない） | | |
| 運営委員会への連絡及び問い合わせ事項：□なし　・　□あり→ 下記記載 | | |
|  | | |

（次頁，実践研究大会　抄録自己チェックリストもご記入ください）

氏名：　　　　　　　　　（会員番号：　　　　　　）

|  |
| --- |
| 実践研究大会　抄録自己チェックリスト  ※必ず下記の項目について確認し，☑（チェック）を入れて，内容のご確認をしてください。  （チェックがないものについては申込を受けつけられませんので，ご了承ください。）  **倫理**  □　１．対象者の安全および人権の擁護，特に研究に関する知る権利，自己決定の権利に対する配慮ができている。  □　２．個人情報や秘密の保持，写真の使用などプライバシーに配慮できている。  □　３．対象者に行った倫理的配慮を明記している。  **構成**  □　１．冒頭には，タイトル，サブタイトル（任意），発表者氏名・共同研究者，発表者所属・共同研究者の所属，キーワードが記載されている。  □　２．本文は，研究目的，研究方法，倫理的配慮，結果，考察，結論を見出しに使用しながら，もしくはこれらを意識した構成がされている。  **記載様式**  □　１．Ａ４縦判横書き２枚，余白は天地左右25mm，本文２段組み，１段20文字×40行になっている  □　２．使用フォントは，以下の通りとなっている  　　　　①タイトル：正送りゴシック体14pt太字  　　　　②サブタイトル：正送りゴシック体12pt太字  　　　　③大見出し：正送りゴシック体10.5pt太字  　　　　④中見出し：正送りゴシック体10.5pt  　　　　⑤小見出し：正送り明朝体10.5pt太字  　　　　⑥本文，発表者，共同研究者，所属等：正送り明朝体10.5pt  　　　　⑦本文中半角文字：century体かRoman体10.5pt  □　３．頭書きは，以下の通りで作成している  　　　　①タイトルはおおむね２５文字程度  　　　　②タイトルが長くなる場合は，サブタイトルを活用  　　　　③発表者氏名の前に“○”  　　　　④発表者氏名の後に，括弧書きで東京社会福祉士会の会員番号を記載  　　　　⑤発表者，共同研究者の所属は，全角右肩片括弧アラビア数字を記載  　　　　⑥所属は，⑤に対応した全角片括弧アラビア数字に続けて記載  □　４　本文の見出しにナンバーを付ける場合，以下の順で使用している。  　　　　①アラビア数字： “１．”，“２．”，“３．”，“４．”  　　　　②両括弧アラビア数字： “（１）”，“（２）”，“（３）”，“（４）”  　　　　③片括弧アラビア数字： “１）”，“２）”，“３）”，“４）”  　　　　④○囲みアラビア数字： “①”，“②”，“③”，“④”  □　５　図，表，写真はそのまま印刷可能な水準で，通し番号，タイトルが付されている。  □　６　和文中では算用数字，括弧，句読点は全角，英文中では半角に統一されている。  □　７．引用文献の記載方法は，以下の通りとなっている  　　　　①本文中の引用部分最後に，全角右肩片括弧アラビア数字を記載  　　　　②文末に，全角片括弧アラビア数字に続けて文献名を記載  　　　　③記載方法は，“著作者名”，“（発行年）”，“「著書名」”，“出版社”の順  □　８．参考文献の記載方法は，引用文献の記載方法に準じている。 |